

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	そらふねfunfunクラブ			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 15日		～	令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 15日		～	令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	レゴブロックを使用した療育メニュー	単に微細運動や手指の巧緻性を高めるだけでなく就学後の書字や生活スキル（靴紐や更衣など）に対して効果が出るように進めている	他者との関わりなどの社会的スキル向上のための療育メニューの考案など
2	マット運動やダンス動画を使用しての粗大運動	子どもたちが楽しめたり笑顔で活動できるようにスタッフ自身を楽しめるような内容を意識している	ゲーム的な要素を加えていくことで達成した時の喜びが目に見えるようなものにしていく（メダルやシール等）
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動時に年齢差があるときなどに統一感を欠いてしまうことがある	利用日や時間帯によっては、利用児童の年齢差が大きくなったりすることがあるため	年齢差があっても皆が楽しむことが出来るようなメニューや取り組み方への工夫が必要
2	発語が無い児童へのアプローチ	絵本や玩具などを使って発語への意欲を高めているが音楽や楽器などを使った取り組みが少ない	電子ピアノなどを利用したリトミックなどの導入
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 そらふねfunfunクラブ

公表日 令和7 年 5月 1日

利用児童数 25

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18				とても広いと思う ノビノビ過ごしています	今後も粗大運動時にノビノビと動けるように配慮していきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				清潔感がある 整理されてると思います 段差が少しあります	引き続き室内空間を清潔に保ちます。 必要に応じて段差解消グッズ等を使用します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				取り組みによって置いているものが 違うのが良い。 清潔です。	今後もテーブルや運動器具等の清潔を保ってまいります
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2			毎月、いろんな作品を持って帰るので 楽しみにしています	今後も、季節に合わせた工作などを 提供します
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6		8	幼稚園に定期的に訪問してくれて ありがたいです	幼保園との連携を今後も継続して まいります
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18				ワークショップが楽しい。	今年度は、ペアトレ等の開催もできるよう 考えてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1			送迎の時に良くお話しします。	送迎時も含めて普段から連絡が取りやす いよう努めてまいります。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18				昨年のクリスマスイベントが楽しかったです。 毎年、親子ワークショップを楽しみにしています。	今年度も親子で楽しんでもらえるように様々な企画を考えていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2		1	コドモンの写真が良いです。 その日の様子を詳しく書いてくれてありがとうございます。	お子様の、楽しんでいる様子が出るだけ伝わるような写真をお見せできるよう頑張ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				先生のお話を家でもします。	今後も安心安全な施設運営に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				前の日から張り切っています。 毎回、楽しみにしています。	お子様が、笑顔で過ごせるよう取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日				
そらふねfunfunクラブ		R7年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準以上の人員配置を心掛けています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染予防の観点からも次亜塩素酸や空気清浄機などを使用して清潔な空間の保持に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		部屋を分割できるような構造になっている。必要に応じて衝立などを利用して個別空間を確保できるよう工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ご意見やご意向を精査しより良い事業運営を目指します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、必要に応じて検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、資質向上につながるような研修療育に関して等)を開催している。適宜、外部研修への参加も促進している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		自社ホームページにて公表済	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツール（AIセラピストCO-MII）を使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		マンネリ化を防ぐため定期的にプログラムやアプローチ法を変えている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日の振り返り及び当日の変更等や伝達事項の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、当日の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日誌アプリを利用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者や幼稚園からの依頼に応じて情報共有及び幼稚園等への訪問等を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者や就学先からの依頼に応じてようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		必要に応じて連絡連携を行い、センター主催の研修へも積極的に参加することになっている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後、関係先の幼稚園の一般開放などに合わせて交流の機会が持てるよう考えていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会や親子ワークショップの開催を定期的に行っています。	ペアトレの開催を立案中
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画案作成後、保護者等の意思や希望が反映されるよう本計画を作成するよう努めている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリングに加えて送迎時などにも話せる機会を設けている。合わせて、日誌アプリからも保護者からの相談が受けられるようになっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子ワークショップは、兄弟さんの参加も可能にしている。 保護者会も年二回ペースで行うようにしている。 (今年度は、8月に予定)	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		日誌アプリにて連絡や情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかる書庫にて保管。」	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	近隣の清掃等への参加	休日などを利用して一般開放日の設定を検討中。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回アセスメント時に確認し支援会議にて情報共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの意向に対応	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回研修会を実施している。	
	53	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	○		年一回開催している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	そらふねfunfunクラブ			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 15日		～	令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 15日		～	令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	レゴブロックを使用した療育メニュー	微細運動や手指の巧緻性の強化だけでなく発想の豊かさやソーシャルスキルの向上など他者との協力や共同作業中のコミュニケーションを大事にしている。	レゴを、使用したプログラミング療育のメニューを実施することで児童の興味関心を広げていきたい。
2	施設内が広いので学習スペースをしっかりと確保することが出来る。	宿題サポート中の児童が集中しやすいような環境整備を心掛けている。	外部刺激に弱さのある児童への配慮方法の検討及び実施
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学年が上がるにつれ利用開始時間や宿題の量が増えることで療育への取り組み時間が短くなってしまう。	休日の利用では問題ないが平日については宿題サポートにどうしても時間を要してしまうため。	保護者の意向も考えながら宿題の一部は自宅で（特に音読など）行えるようにしていく。 宿題サポートから療育メニューへの切り替え時間を早くしていく。
2	外遊びの機会が少ない。	レゴブロックを療育の中心としているため外遊びをする時間が限られてしまう。 粗大運動メニューが少ない。	土曜などの休業日には出来るだけ外遊びの機会も設けていかなければならない。 室内遊具を使った粗大運動メニューの充実が必要。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 そらふねfunfunクラブ

公表日 令和 7年 5月 1日

利用児童数 7

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				走り回っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			1	勉強しやすいように分けてもらえてるようです。	外部刺激に弱いなど障がい特性に合わせた構造化を心掛けてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4			1		感染防止も含めて清潔で過ごしやすい空間作りを継続します。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				出来ることが増えてきました。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				いつもありがとうございます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1			いつも楽しいと言っています。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1		2		所外活動を通じて児童館や図書館などの公共施設の利用も増やしていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				いつも相談に乗ってもらってありがたいです。	モニタリング月以外も送迎時やメール電話などで対応しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1			兄弟が参加できると助かります。	ご家族・ご兄弟が参加できるイベントや保護者交流会等の開催を準備してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				写真でその日の様子が見れるのを楽しみにしています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4				アプリが便利。 連絡がスマホで確認できるから楽です。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			2		再度周囲徹底を図ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4				体調が悪いときなど連絡をもらっています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				楽しそうです。	安心安全な事業運営を心掛けてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				学校より好きみたいです。 レゴが大好きで家でも遊んでいます。	今後も楽しく取り組んでもらえる療育メニューの提供を心掛けてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				いつもありがとうございます。	今後ともよろしくお願い致します。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				
そらふねfunfunクラブ		令和7年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準以上の人員配置を心掛けています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染予防の観点からも次亜塩素や空気清浄機などを使用して清潔な空間の保持に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ご意見やご意向を精査しより良い事業運営に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、必要に応じて検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		自社ホームページにて公表済	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールシステムのAIセラピストcomiiを使用	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月、プログラムについてスタッフ間で話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月、プログラムについてスタッフ間で話し合っている。	外遊びや所外活動の充実を図る。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		就業前の朝礼（前日の振り返り及び当日の療育メニュー及び利用者・保護者からの連絡事項等の情報共有）	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終業後の終礼（スタッフで気づいた点反省点などを共有）	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング月以外にも必要に応じて保護者と連絡相談の上、適宜見直しを行う。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		全ての療育メニューにおいて、選択肢をいくつか準備して児童に決定してもらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者または管理者が必ず出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎のための事業所案内文やスタッフの顔写真などを提供している。 担任教諭や加配や支援担当の教諭とも情報共有に努めています。	今後も、学校との連携や情報共有に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会及び事業所連絡会への参加も出来る限り行っている。	人員や時間のやりくりを行っていくことで参加できるようにしていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		公的機関からのお知らせや家庭で出来る取り組みなどの情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書の説明時に合わせて行うようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画案の段階から保護者様と共に支援内容について話し合うとともに同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫にて保管	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日誌に写真を添付することで保護者に対して様子が分かりやすいよう配慮している。 児童に対しても絵カードや写真等をコミュニケーションツールとして使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の清掃等への参加	現在、休日を利用しての一般開放や各種イベント等を考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年一回、防災の日前後に避難訓練等をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント時に確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの意向に対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		年二回の事例検討に加え、必要に応じて朝礼や終礼時に情報共有を行ない再発防止について話し合いを持つようになっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回内部研修を行い、外部研修への参加も行っている。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	○		年に一回開催している。	
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現状、該当のケースは無いが、身体拘束についてはインフォームドコンセントを意識して進めていく。